

令和8年度 習志野市立秋津小学校 学校経営方針

学校教育目標

「仲間と支え合い、自ら考えて挑戦し、心豊かにたくましく生きる子」

学校の特徴・実態

- 1 コミュニティ・スクールとして「地域の風がいきかう学校づくり」の一層の推進
 - ・ 学校運営協議会、パートナー会議を実施し、学校経営に意見と教育活動への支援をいただいている。
(安全支援ボランティア、環境支援ボランティア、学習支援ボランティア)
 - ・ 地域と連携した学校行事に取り組んでいる。(学校と地域の大運動会・秋津小防災の日等)
- 2 「わかる授業」による基礎・基本の定着と「確かな学力」の維持・向上
 - ・ ユニバーサルデザインの視点で教室環境を整え、学習に集中できる環境づくりに取り組んでいる。
 - ・ 一人1台タブレット端末の有効活用
 - ・ 朝学習、家庭学習を連携させて、基礎・基本の定着を目指している。
- 3 心豊かな児童を育む教育の充実
 - ・ 「あきつ あいさつ ありがとう」を合言葉に、挨拶を通して人間関係を育てている。
 - ・ 「特別活動」の充実。児童会を主体とした人間関係づくり→自立心、いじめ・不登校対策へ
 - ・ 縦割り活動の異年齢集団活動を通して、コミュニケーション能力を育てている。
- 4 健康で、たくましい児童を育む体育及び健康の推進
 - ・ 体育科研究を生かして「意欲喚起・集団づくり・教材づくり」に努め、正課体育の充実を図っている。
 - ・ 業間体育(サンタイム)を工夫し、体力向上を図っている。
 - ・ 秋津っ子マラソンに通年通して取り組むことで体力の向上を図っている。
 - ・ フツ化物洗口(毎週水曜日朝)に取り組み虫歯予防に努めている。
- 5 環境整備の充実
 - ・ 教室環境・校内環境に全校で統一して取り組んでいる。(空き教室や掲示物の整備も含む)
 - ・ 地域清掃「クリーン運動」に取り組んでいる。
- 6 教職員の資質や指導力の向上
 - ・ 体育の研究(令和8年度は安全【防犯】研究)を通して、指導方法の工夫改善に努めている。
 - ・ 計画的に若年層研修や相互授業参観を行い、指導力向上を図っている。
 - ・ ブロックでの学年会、教材研究の充実を図る。

目指すべき姿

【目指す学校像】

- ・ 子供が主体の学校
- ・ 笑顔あふれ活力のある学校
- ・ 地域と共に協力し合える学校

【育てたい児童像】

- ・ **あ**相手を思い、仲間と支え合う子
- ・ **き**規律を守り考えて行動し、挑戦する子
- ・ **つ**強い心と体で、豊かに生きる子

【目指す教師像】

- ・ 子供と共に学び合える教師
- ・ 人間性豊かで、子供、保護者、
地域から信頼される教師
- ・ 自己研鑽に努め、専門性を高める教師

学校経営の重点目標

【仲間と支え合う力の育成】

互いのよさや違いを認め合い、思いやりをもって関わる児童を育てる。
安心して過ごせる学級・学校づくりを通して、自己肯定感を高める。

【主体的に考え、挑戦する学びの充実】

「わかる・できる」を実感できる授業づくりを推進する。
主体的・対話的で深い学びを通して、思考力・判断力・表現力を育成する。

【心と体の基盤づくり】

健やかな心身と基本的な生活習慣の定着を図る。
運動や体験活動を通して、たくましく生き抜く力を育てる。

【家庭・地域とともに歩む学校づくり】

家庭・地域と連携し、共に子どもを育てる学校経営を推進する。
教職員がチームとして協働し、教育活動の質を高める。

短期経営目標を達成するための具体的方策

1. 仲間と支え合う力の育成

- ・学級・ブロック・縦割り活動を計画的に位置付け、関わり合いのある学校生活を充実させる。
- ・道徳科・特別活動を中心に、人権教育と自己肯定感を高める指導を推進する。
- ・いじめの未然防止に向け、日常の見取りと組織的な生徒指導体制を強化する。
- ・家庭・地域と連携し、地域に支えられている実感をもてる教育活動を行う。

2. 主体的に考え、挑戦する学びの充実

- ・「わかる・できる」を実感できる授業づくりを全教職員で共有・実践する。
- ・主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善と校内研修を推進する。
- ・ICTを効果的に活用し、思考・判断・表現の力を伸ばす学習活動を充実させる。
- ・失敗を認め、次につなげる学級風土を育て、挑戦する姿勢を価値付ける。

3. 心豊かにたくましく生きる力の育成

- ・体育・運動遊び・体力づくりを計画的に行い、基礎体力の向上を図る。
- ・健康・安全教育を通して、心身の健康と自他の命を大切にする意識を育てる。
- ・早寝・早起き・朝ごはん等、基本的な生活習慣の定着に家庭と連携して取り組む。
- ・達成感や成長を実感できる体験活動を通して、粘り強さを育てる。

4. 学校経営の基盤づくり

- ・教職員がチームとして協働し、共通理解のもと教育活動を推進する。
- ・児童理解に基づいた指導と、組織的な支援体制を大切にする。
- ・家庭・地域との対話を重ね、信頼される学校づくりを進める。
- ・学校評価を生かし、改善を積み重ねる学校経営を行う。